



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澄田 誠

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼財務経理部長

(氏名) 棚橋 祥紀

TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,098	1.4	892	29.8	969	42.6	526	91.4
23年3月期第2四半期	12,923	16.0	687	409.4	679	201.6	274	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 532百万円 (216.2%) 23年3月期第2四半期 168百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	30.08	29.73
23年3月期第2四半期	15.72	15.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	27,569	22,124	78.9
23年3月期	27,501	21,693	77.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 21,760百万円 23年3月期 21,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	2.4	1,700	16.8	1,800	17.5	950	23.4	54.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	18,218,901 株	23年3月期	23,218,901 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	715,195 株	23年3月期	5,728,795 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	17,497,463 株	23年3月期2Q	17,490,168 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 追加情報	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(8) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの復旧により経済活動に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、欧米諸国での財政問題、円高の進行、中国の金融引き締め等、先進国のリセッション入りリスクや世界経済の減速懸念が強まっており、経済環境の先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、地上デジタル放送への移行に伴う薄型テレビや録画再生機の特需終了等によりデジタル家電の需要は低迷したものの、スマートフォンやタブレット端末（多機能携帯端末）は好調に推移し、NANDフラッシュメモリの需要は高水準を維持しました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高130億98百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益8億92百万円（同29.8%増）、経常利益9億69百万円（同42.6%増）、四半期純利益5億26百万円（同91.4%増）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、当社グループが蓄積してまいりました高度なエンジニアリング力を効果的に活用して高付加価値製商品及びサービスの提供に努め、仕入先との更なるパートナーシップを強化すると共に既存顧客との関係強化・新規顧客開拓に注力し、加えて新製品の開発に注力するなど積極的な営業活動を展開してまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、長期契約の更新が順調に進んだことなどにより、概ね堅調に推移いたしました。ASIC受託設計は、一部商品の生産終了に伴い一時的に売上が増加いたしました。自社製テストシステムは、スマートフォンやタブレット型端末等の需要増により国内及び海外半導体メーカーにおけるフラッシュメモリ生産が好調に推移し、大幅伸長となりました。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、震災の影響による顧客の開発プロジェクトの見直しや先送りなどにより前年同期実績に及びませんでした。

その結果、当事業の売上高は64億56百万円（同29.1%増）、セグメント利益は10億32百万円（同113.8%増）となりました。

〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に努めてまいりました。ハードディスク部門は、OA・FA及びその他アミューズメント向けにおける市況の回復及びシェア拡大により出荷台数が増加したものの、震災の影響による顧客の生産調整のため全体的に落込みました。デバイス部門は、デジタルテレビの需要減及び単価下落に伴い、HDMIチップの売上が減少いたしました。アイティアクセス株式会社の組み込みソフトウェア及びデジタル家電向け開発支援ビジネスは、アナログ停波までの駆け込み需要等によりデジタル家電向けライセンス販売が堅調に推移した一方で、受託開発は一部開発の遅れなどにより売上は減少いたしました。

その結果、当事業の売上高は66億42百万円（同16.2%減）、セグメント利益は68百万円（同80.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、275億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加しております。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は54億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億63百万円減少しております。これは主に、借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は221億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億30百万円増加しております。これは主に、四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は78.9%となり、前連結会計年度末に比べ1.2ポイント増加しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、68百万円の減少（前年同期は1億87百万円の増加）となりました。これは、営業活動によって11億66百万円を得たものの、投資活動によって90百万円、財務活動によって11億41百万円を使用したためであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は、11億66百万円（前年同期比11.5%減）となりました。これは主に、たな卸資産及び前渡金が3億1百万円増加したものの、仕入債務が4億51百万円増加したことや税金等調整前四半期純利益を10億14百万円計上したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は、90百万円（同56.5%減）となりました。これは主に、無形固定資産の取得に60百万円を支出したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は、11億41百万円（同26.1%増）となりました。これは主に、短期借入金で10億円減少したことや配当金の支払いに1億38百万円を使用したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,250,942	3,181,967
受取手形及び売掛金	7,390,113	7,464,503
商品及び製品	2,509,512	2,096,153
その他	2,184,934	2,859,401
貸倒引当金	△1,530	△574
流動資産合計	15,333,971	15,601,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,910,416	7,912,198
減価償却累計額	△3,405,727	△3,485,088
建物及び構築物（純額）	4,504,689	4,427,110
土地	5,672,632	5,672,632
その他	686,349	736,277
減価償却累計額	△455,796	△477,413
その他（純額）	230,552	258,863
有形固定資産合計	10,407,874	10,358,606
無形固定資産		
のれん	262,934	173,734
その他	82,257	145,691
無形固定資産合計	345,192	319,426
投資その他の資産		
投資有価証券	667,159	568,701
その他	846,583	728,334
貸倒引当金	△99,023	△7,310
投資その他の資産合計	1,414,719	1,289,725
固定資産合計	12,167,785	11,967,757
資産合計	27,501,757	27,569,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,041,292	2,486,655
短期借入金	1,000,000	—
未払法人税等	418,514	472,060
賞与引当金	—	114,926
役員賞与引当金	—	16,300
その他	1,819,604	1,838,650
流動負債合計	5,279,411	4,928,592
固定負債		
退職給付引当金	310,187	290,702
役員退職慰労引当金	35,430	31,739
その他	183,215	193,980
固定負債合計	528,832	516,423
負債合計	5,808,244	5,445,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	9,295,713	7,320,858
利益剰余金	3,912,721	4,299,063
自己株式	△2,266,303	△282,930
株主資本合計	21,459,291	21,854,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,062	△15,857
繰延ヘッジ損益	△10,560	10,379
為替換算調整勘定	△93,537	△88,306
その他の包括利益累計額合計	△91,034	△93,784
新株予約権	95,760	125,628
少数株主持分	229,495	238,194
純資産合計	21,693,513	22,124,191
負債純資産合計	27,501,757	27,569,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	12,923,794	13,098,391
売上原価	9,991,070	9,811,634
売上総利益	2,932,724	3,286,757
販売費及び一般管理費	2,245,329	2,394,334
営業利益	687,394	892,422
営業外収益		
不動産賃貸料	123,005	212,751
その他	28,158	31,609
営業外収益合計	151,163	244,361
営業外費用		
不動産賃貸費用	144,054	164,499
その他	14,768	3,111
営業外費用合計	158,822	167,610
経常利益	679,735	969,173
特別利益		
貸倒引当金戻入額	348	—
退職給付制度終了益	—	49,359
その他	694	46
特別利益合計	1,043	49,405
特別損失		
投資有価証券評価損	55,361	—
投資有価証券売却損	—	3,562
その他	7,094	790
特別損失合計	62,455	4,352
税金等調整前四半期純利益	618,322	1,014,226
法人税等	310,776	478,682
少数株主損益調整前四半期純利益	307,546	535,544
少数株主利益	32,571	9,280
四半期純利益	274,974	526,263

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	307,546	535,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,502	△28,920
繰延ヘッジ損益	36,820	20,939
為替換算調整勘定	△135,374	5,231
その他の包括利益合計	△139,055	△2,749
四半期包括利益	168,490	532,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,918	523,514
少数株主に係る四半期包括利益	32,571	9,280

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	618,322	1,014,226
減価償却費	141,348	154,240
のれん償却額	89,199	89,199
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	334	△1,552
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,968	△19,484
受取利息及び受取配当金	△4,551	△4,650
支払利息	4,914	50
投資有価証券評価損益 (△は益)	55,361	—
売上債権の増減額 (△は増加)	449,230	△81,701
たな卸資産及び前渡金の増減額 (△は増加)	△76,234	△301,221
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,117	451,760
前受金の増減額 (△は減少)	125,928	199,010
その他	△143,061	49,932
小計	1,324,878	1,549,809
利息及び配当金の受取額	4,510	4,650
利息の支払額	△5,065	△65
法人税等の支払額	△7,314	△388,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,317,009	1,166,076
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300,000
定期預金の払戻による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△16,282	△16,358
無形固定資産の取得による支出	△9,707	△60,667
投資有価証券の取得による支出	△104,419	—
投資有価証券の売却による収入	6,919	42,048
短期貸付けによる支出	△42,520	—
その他	△40,832	△55,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,841	△90,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	△1,000,000
長期借入金の返済による支出	△550,000	—
配当金の支払額	△52,443	△138,402
少数株主への配当金の支払額	△232	△581
その他	△1,974	△2,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△904,650	△1,141,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,820	△4,039
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	187,697	△68,975
現金及び現金同等物の期首残高	2,324,926	2,950,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,512,623	2,881,967

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,002,081	7,921,713	12,923,794	—	12,923,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,088	—	20,088	△20,088	—
計	5,022,169	7,921,713	12,943,883	△20,088	12,923,794
セグメント利益	483,083	350,725	833,809	△146,414	687,394

(注) 1. セグメント利益の調整額△146,414千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△146,673千円及び棚卸資産の調整額259千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,456,037	6,642,354	13,098,391	—	13,098,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,060	—	11,060	△11,060	—
計	6,467,097	6,642,354	13,109,452	△11,060	13,098,391
セグメント利益	1,032,952	68,539	1,101,491	△209,069	892,422

(注) 1. セグメント利益の調整額△209,069千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△208,864千円及び棚卸資産の調整額△204千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月10日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、次のとおり自己株式を消却いたしました。これにより、資本剰余金および自己株式がそれぞれ1,977,993千円減少しております。

- ① 消却した株式の種類 普通株式
- ② 消却した株式の数 5,000,000株（消却前の発行済株式総数に対する割合 21.5%）
- ③ 消却実施日 平成23年6月30日

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。